

平成24年  
第1号  
通巻19号

# Soft Ball

発行者・編集者  
さいたま市ソフトボール協会  
市ソ協会長 和田 隆雄  
広報委員長 田口 秀夫

## 23年度・評議員会開催 協会創立10周年記念事業開催示唆

2月26日「さいたま共済会館」にて市ソ協の平成23年度評議員会が出席125名、委任48名のもと開催された。和田隆雄会長は「協会発足10年目に入りました。昨年の3月11日には1,000年に1度という東日本大震災にみまわれました。当協会では総合開会式、中学生冬季トーナメント戦を中止したのみで23年度の事業を遂行、被災地への義援金、救援物資を送ることを決定しました。多くの会員、チーム、学校、業者の方には暖かい御協力を戴きました。そしてグラウンド不足、役員不足、会員高齢化の中、秋の市民大会を「さいたま市誕生10周年記念大会」の冠大会とし、つつがなく11月27日全日程927試合を終えました。協会・役員ともに10歳、年齢を重ねています。是非、若い方々の参画を願っています。そして、今年度中に念願の10周年記念事業を挙げる所存です」と挨拶述べた。

来賓の齊藤一男さいたま市体協事務局長は、「日本体育協会は創立100周年、さいたま市は誕生10周年、市ソ協も創立10周年記念と慶事が続きおめでとうございます。記念事業をしっかりと応援します」と祝辞を戴いた。



[齊藤体協事務局長]

田中一弘市ソ協顧問は、「整然と規律正しい組織、チーム、会員の数、質、技量など、この様な良い団体に成長しましたが、10年前には全然予測できませんでした。感無量です」と言葉を述べられた。



[田中一弘顧問]

野沢（アシックス）様、牧野（ナガセケンコー）様は、「ご盛況おめでとうございます。和田会長を中心に一致団結し、ますます市ソ協協会員のご活躍をお祈りします」との祝辞を戴いた。来賓から祝辞を戴いた後、協会規約12条2により会長が議長を務め議事に入った。



左[㈱アシックス・野沢様]  
右[ナガセケンコー㈱・牧野様]



### (1) 平成23年度事業報告

当協会には副理事長が4名おり、各専門委員会を分担

補助しながら理事長の職務を補佐する「副理事長会」が立派に事業を遂行している。小学生からハイシニアの部まで全ての活動、各専門委員会の活動等報告があった。

### (2) 平成23年度決算報告、監査報告について

収入848万円、支出823万円、残額25万円。男子3部など大会参加のチーム減により事業収入が減額となった。事業費、事務費の減額については、役員の方の会議費手当を無報酬にして対応している。以上の報告があった。

### (3) 平成24年度事業計画について

行政にグラウンド増加を要請、会員高齢化により、シニア・ハイシニア部門の増充実。伝達・決定事項がチーム内に不徹底のため、代表者会議で時間をかけて説明する。主管県大会、上部大会開催の役員増対策の報告があった。

### (4) 平成24年度予算について

平成23年度に比べ32万円の減。男子3部、小学生等計16チームの参加減、ねりんピック中止等で収入減少。雑費の項目で役員制服補助が支出増となる。予算総額816万円で会員の期待に応えたい、との報告があった。

### (5) 平成24・25年度役員について (別項)

### (6) 報告事項

- 1) 規約細則、事務分担表について  
3条5 年間登録料参加料 (抜粋)  
ハイシニア大会参加料 5,000円  
中学生年間登録料 4,000円に改正
- 4条 広報委員会と放送委員会を分割し独立、技術委員会への改称等があり事務分担表とともに2月の理事会で改正したとの報告があった。



[事業報告浅見理事長]

### 2) 平成23年度市民体育大会最優秀選手表彰



[市民体育大会最優秀選手の皆様と、会長・副会長]

評議員会の席上で和田会長が賞状、及び㈱アシックス様提供の副賞を授与し、全出席者に披露した。

## 懇親会

戸外では風花が舞う寒い夜、室内では90名の熱気で満ちていた。「加盟300チーム、会員6,500名、年間1,000試合消化。一つの県協会の規模に匹敵する市ソ協だ!! 正に全国大会出場の決起集会の様だ」と鈴木征参与のサービス気味の乾盃挨拶で開会した。「上昇志向のチーム」、「レクリエーションスポーツと任じるチーム」、「昨日の敵は今日の友」、「たかがソフト、されどソフト」、「高齢化と後継者育成のギャップ」しばし楽しい語らいの合間に関東、全国大会出場チームの報告が行われた。関東一般男子大会(高崎市開催)の「土合小PTAソフト」波村監督は、「県代表の意地を見せることなく1回戦負けでした。協会の皆様の御指導、声援に応えられず申し訳ありません」。ねりんピック熊本大会の「大宮レインボーズ」中村監督は、「全国のレベルは高かった。我がチームも1回戦負けでした。勝つ技術のバッティング、ピッチングすべて鍛え直し再度全国大会に臨みたい」と各報告があった。ヒートアップした会場も、「またグラウンドで再会しましょう」と井上中央支部女子部長のメで閉会となった。



[鈴木参与を囲むレディース軍団]

# 平成23年度さいたま市誕生10周年記念市民体育大会結果

## 【一般男子 1部】

11月27日 荒川総合運動公園 D面

浦和ツインズ	0 0 0 0 0 0 2	2
カスラーズ	0 0 0 0 0 0 5x	5

(浦和) 小林大祐・鶴岡真一  
 (カス) 辺見浩太・石川喜久  
 (本塁打) 山田侑祐[カ]  
 (二塁打) 小島秀樹・神田英雄・山田侑祐  
 以上[カスラーズ]  
 (MVP) 山田侑祐[カスラーズ]  
 (審判) 佐伯正夫(球)・岡田 貢(一)  
 矢作省治(二)・樋口博司(三)  
 (記録) 野中新介(戦評) 本間幸次  
 (広報) 田口秀夫

### カスラーズ、山田のサヨナラ本塁打で6年ぶり2度目の優勝!

両投手の投げ合いで6回まで無得点、タイブレーカーで7回も無得点、迎えた8回、カスラーズは4連打で5点を取り逆転サヨナラ勝。

浦和ツインズ、8回に2点を取り勝利を得たかに見えたが8回裏に逆転され優勝から見放された。見応えのある試合であった。



【2度目の優勝・カスラーズ】

### カスラーズ・松澤賢二監督談話

◎辺見の2試合の好投、高梨など生え抜きのベテランの復活、若手山田の劇的サヨナラホームラン等。親子二代で繋いだ縁が、市誕生10周年記念の冠大会で6年振りに又花が開きました。全員が優勝の立役者です。

前監督については、協会の方々にご心配おかけしました。厚く御礼申し上げます。MVPを一人選べると言うと、ラッキーボーイの山田侑祐です。



【惜しくも準優勝の浦和ツインズ】

## 【一般男子 2部】

11月27日 荒川総合運動公園 E面

FSCバーボンズ	0 0 0 0 1 3 0	4
桜ソフトボール	0 1 0 0 0 3 1x	5

(FS) 小藤達郎・川端剛史  
 (桜ソ) 佐藤岳史・日下部健太  
 (三塁打) 佐藤惇一・植田 博[桜]  
 (二塁打) 佐藤岳史・日下部健太[桜]  
 藤原 嵩[F]  
 (MVP) 佐藤岳史[桜ソフトボール]  
 (審判) 丸田 豊(球)・小林守信(一)  
 川村勝夫(二)・重盛 浩(三)  
 (記録) 島寄恒夫(戦評) 本間幸次  
 (広報) 齋藤 豊

### 桜ソフト、タイブレーカーを制し初優勝!!!

桜ソフト2回二死2塁から佐藤(淳)の三塁打で1点先制、その後好機をも生かせず逆転を許し3点を追う7回、日下部・佐藤(岳)の二塁打で同点とし8回相手のミスを誘い1点を勝越しあっけない幕切れ。

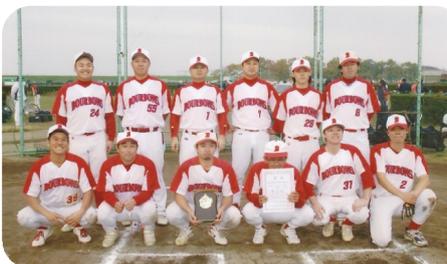
FSCは同点で迎えた7回藤原の二塁打で1点、橋崎の左前打で2点と優勝に手が届きかけたが8回に逆転され喜びが無念に変わった。



【初優勝の桜ソフトボール】

### 桜ソフトボール・友光敏夫監督談話

◎念願の優勝が出来ました。チームの一同がひとつになった結果と考えています。楽しませていただいた大会関係者に御礼を申し上げます。



【準優勝のFSCバーボンズ】

## 【一般男子 3部】

11月27日 荒川総合運動公園 F面

イーストワン	5 0 1 0 3	9
南浦和小PTAソフト	0 0 0 0 1	1

(イー) 高橋健二・岡部克也  
 (南浦) 森 豊明・久保田勝巳  
 (三塁打) 広瀬勝利[イ]  
 (二塁打) 高橋健二[イ]・松本裕二[南]  
 (MVP) 高橋 斉[イーストワン]  
 (審判) 信田正行(球)・三田明夫(一)  
 中川 勉(二)・玉谷隆次(三)  
 (記録・戦評) 本間幸次  
 (広報) 友光節夫

### イーストワン猛打で初優勝!!



【初優勝のイーストワン】

イーストワン、初回3連打と4四球で5点先制、3回には広瀬の三塁打で1点追加、5回には高橋(斉)の犠飛・高橋(健)の二塁打で3点を取りだめ押し点となった。

南浦和は4回まで高橋投手の前に散発4安打とチャンスにも恵まれず、5回代打松本の二塁打を棚沢の二遊間安打で意地の1点を取るも後続なく完敗。

### イーストワン・高橋直満監督談話

◎チーム一丸で初優勝です。センターラインの充実、主軸の活躍で来年は強豪リーグ(2部)に仲間入り出来そうなので、2部でも頑張ります。



【準優勝の南浦和小PTAソフト】

## 【壮年の部】

11月23日 荒川総合運動公園 F面

さいたまクラブ	30032	8
城北小ソフトクラブ	00000	0

(さい) 倉田新二ー三田浩嗣  
 (城北) 原口信行ー石川峰生  
 (三塁打) 山崎二三夫・椋澤研三  
 森 達郎 以上[さいたま]  
 (MVP) 倉田新二[さいたまクラブ]  
 (審判) 吉村大菊(球)・山口貴久雄(一)  
 高橋興雄(二)・樋口博司(三)  
 (記録・戦評) 本間幸次  
 (広報) 神長伊佐男

### さいたまクラブ、投打に力を 発揮し初優勝!!!

さいたまクラブは初回2四死球を倉田の中前打と椋澤の右翼線への三塁打で3点先制、4回にも2本の三塁打で3点、5回には2本の安打で2点を取り効率の良い攻撃で快勝。

城北小ソフトは倉田投手の前に散発5安打に押さえられ完封を喫した。

さいたまクラブ・山崎二三夫監督代理  
 ◎気の弱い選手がいるので、初球から狙う指示をしたが、相手投手が荒れていたのを選びながら打たせた。決勝戦は実年と重なったので、振り分けが難しかったが、全員が納得してくれた。試合中は気合を入れ、集中力が途切れないようにしたのが勝因です。



【準優勝の城北小ソフトクラブ】

## 【実年の部】

11月23日 荒川総合運動公園 E面

さいたまクラブ	4006	10
辻小PTAソフト	0220	4

(さい) 及川昭三ー高橋一弘  
 (辻小) 足立宏文・石毛義隆ー井出和政  
 (MVP) 千島 満[さいたまクラブ]  
 (審判) 岡田 貢(球)・並木 徹(一)  
 矢作省治(二)・木内良一(三)  
 (記録) 清水智衣子(戦評) 本間幸次  
 (広報) 友光節夫

### さいたまクラブ、追いあげる辻小を突き放し初優勝!!!

さいたまクラブ同点で迎えた4回、この回から替わった石毛投手から5連続四球と千島の一・二塁間突破安打で5点と敵失で1点の計6点を取り突き放した。

辻小PTAソフトは6点差を追う4回及川投手の前に反撃の機会をも作れず完敗。敵を上回る5安打を放ったが、12四球が痛かった。

さいたまクラブ・及川昭三監督  
 ◎お互いに投手が苦労している状態の中で、我慢の打席だったかなと思います。早い時にストライク、ボールを見極めて一人ひとりが落ち着いていて、バッティングに集中できたことが結果につながったと思います。



【準優勝の辻小PTAソフト】

同年度の大会で壮年・実年の部同時優勝は「さいたまクラブ」が初の快挙。

## 【シニアの部】

11月23日 北部工業団地記念公園C面

大宮レインボーズ	000110	2
浦和SG	203001x	6

(大宮) 福島英次・小美野輝雄ー中村允昭  
 (浦和) 佐藤和昭ー小林 薫  
 (本塁打) 千葉 清[大]  
 (三塁打) 川口明朗・広町哲男[浦]  
 村山 均[大]  
 (二塁打) 宮寺享三[浦]  
 (MVP) 小林 薫[浦和SG]  
 (審判) 佐伯正夫(球)・村山 彰(一)  
 片山 茂(二)・栗原敏夫(三)  
 (記録) 直井政明(戦評) 本間幸次  
 (広報) 松本文夫

### 浦和SG春秋10連覇!!! 13度目の優勝 5年敵なし

浦和SG、初回無死二、三塁から高取の2点タイムリーで先制、3回には川口の三塁打、宮寺の二塁打など長短5安打で3点を取り突き放した。

大宮レインボーズ、4回千葉の本塁打で1点、5回村山の三塁打をライトゴロの間に1点と追いかけるも佐藤投手の前に後続なく惜敗であった。



【10連覇・無敵軍団の浦和SG】



【浦和SG・エース佐藤和昭投手】

浦和SG・新野一男監督  
 ◎レギュラーと、控え選手が一体となって戦った結果の優勝でした。



【準優勝の大宮レインボーズ】



【壮年の部・実年の部ダブル優勝の・さいたまクラブ合同で】

### 【ハイシニアの部】

10月8日 北部工業団地記念公園C面

さいたま 6 5	3 0 0 2 0	5
大宮レインボーズ	0 1 0 0 3	4

(さい) 荒井康男一熊田信秋  
 (大宮) 碓田修三・小美野輝雄・松元元芳  
 一 中村允昭  
 (三塁打) 坂田育男 (大)  
 (二塁打) 江森 誠 (大)  
 (MVP) 荒井康男[さいたま65]  
 (審判) 川村勝夫(球)・佐藤史彦(一)  
 内藤武二(二)・片山 茂(三)  
 (記録) 清水智衣子(戦評) 本間幸次  
 (広報) 友光節夫

### さいたま65 接戦を制し 市民大会2度目の優勝！！

さいたま65は初回二死二塁から4連打により3点先制、4回には3四死球と2安打により2点を追加し試合を決めた。

大宮レインボーズは2回一死一塁から江森の二塁打で1点、5回には一死一、二塁から坂田の三塁打で3点を取り追いかけるも後続を絶たれ惜敗。無失策試合で引き締まった接戦であった。

ハイシニアの大会は3年目を迎えたが、毎年両チームが春・秋のどちらかを制し、3勝3敗のタイ成績である。

#### さいたま65・藤原安久監督談話

◎久し振りに勝たせてもらった。大宮レインボーズさんには今まで対戦成績が良くなかったが、私共部員が一丸となって練習を重ねてきた結果だと思えます。これからももっと良い試合が出来るよう頑張ります。



【試合前の整列してご挨拶】



【3度目優勝のさいたま65】

### 【レディースの部】

11月20日 西遊馬公園 A面

美園フレンズ	1 3 2 0 0	6
指扇ソフトクラブ	0 0 0 2 0	2

(美園) 関口絵莉菜一柴崎史江  
 (指扇) 山田実加一新木真弓  
 (三塁打) 関口絵莉菜[美]・山田実加[指]  
 (二塁打) 小池由起[美]  
 (MVP) 酒井のぞみ[美園フレンズ]  
 (審判) 岡田 貢(球)・川村勝夫(一)  
 下浦秋夫(二)・油木昭男(三)  
 (記録・戦評) 本間幸次  
 (広報) 神長伊佐男

### 美園2年連続3度目の優勝！！

美園フレンズ初回、二死二、三塁から富田の三遊間適時打で先制、2回小池の二塁打と関口の三塁打で3点、3回一死二塁から2連打で2点を取り試合を決めた。

指扇ソフトは1回山田の三塁打を生かせず、3回まで関口投手の前にチャンスも作れず、4回一死二、三塁から二塁ゴロの間に1点原の内野安打で2点目と追いかけるも後続を絶たれ惜敗。



【美園フレンズ・5度目の優勝！！】

#### 美園フレンズ・安藤政男監督談話

◎今回は春秋通算で5回目の優勝だと思います。今年は第1試合の準決勝では守備で苦労したが、決勝では伸び伸びとして本来の守備が出来た。これが勝因です。



優勝の「美園フレンズ」表彰式でにっこり微笑む



【準優勝の指扇ソフトボールクラブ】

### 【高校生女子の部】

### 第5回さいたま市ソフトボール協会会長旗争奪高校生大会

11月20日 荒川総合運動公園  
 第5回大会は、19日が雨天で中止になり、一日に短縮して行いましたので、4ブロックに分かれトーナメント戦を実施した。参加チームは16チームで、2チームは1校ではチーム編成が出来ず、合同チームでの参加となった。

### 【中学生女子の部】

### さいたま市中学校新人体育大会

10月6日 浦和総合運動場軟式球場

春里中学校	0 0 0 2 0 0 4	6
三室中学校	0 0 0 1 0 0 0	1

(春里) 山北千裕一長南久美子  
 (三室) 後藤美波一飯塚えりか  
 (三塁打) 飯津瑛梨奈[春]・高田亜希[三]  
 (審判) 田口正光(球)・丸田 豊(一)  
 棚沢敬治(二)・木内良一(三)  
 (記録・広報) 山内 渉

### 春里中新人戦初優勝！！

春里中は4回内野安打2本を足掛かりに、スクイズ・相手エラーで2点、7回飯津の三塁打を内野安打で還しエラーなどで確実に得点、4点を取り試合を決めた。

三室中は4回裏高田の三塁打で1点還したがそれ以上得点できず完敗。

#### 春里中学校・田中伸一監督談話

◎三室中の堅い守備を中々崩せず苦労をしましたが、選手達が最後まであきらめず頑張ったことが勝因です。会長旗争奪大会に続き連覇することが出来てとても喜んでます。



【新人戦初優勝の春里中学校】

### 23年度さいたま市冬季大会

3月24日 荒川総合運動公園D面

春里中学校	0 0 1 0 0 1	2
土屋中学校	0 1 0 0 3 X	4

(春里) 山北千裕一長南久美子  
 (土屋) 嶋田七里一川原田昌世  
 (三塁打) 嶋田七里[土屋]  
 (二塁打) 菅原 佑香[春里]  
 (MVP) 嶋田七里[土屋中学校]  
 (審判) 岡田 貢(球)・小林守信(一)  
 波村 章(二)・三田明夫(三)  
 (記録・広報) 榎本靖二

### 【小学生男子の部】

10月30日 荒川総合運動公園 A面

日進二丁目若草子供会	0 0 0 0 0 0	0
太陽フェニックス	0 1 2 1 0 x	4

(日進) 城山 諒・田中優希ー小澤壮太郎  
(太陽) 山田啓斗ー田渕克海

(MVP) 田渕克海[太陽フェニックス]  
(審判) 半澤武夫(球)・浅野庄吾(一)  
亀谷清司(二)・染谷和良(三)  
(記録・選評) 本間幸次(広報) 齋藤 豊

### 太陽フェニックス・春秋連覇 秋5年連続優勝の快挙!!

太陽フェニックスは2回岩井の内野安打を足掛かりに1点先制、3回には無死一、二塁から2本の内野ゴロの間に2点、4回には無死一塁から内野ゴロと暴投で3進、伊藤の絶妙なスクイズでだめ押しの追加点、3安打で4点と効率の良い攻撃で優勝を決めた。

日進二丁目は4回1死一、二塁とチャンスを作るも山田投手の好投に後続を絶たれ3安打完封を喫した。

#### 太陽フェニックス・横畑邦男監督

◎チームが一丸と成っての優勝、又市民体育大会5連覇となり、大記録を達成しました。選手が大人になった時にこの大会が誇れるように、卒団するまで気を抜くことなく、頑張っと思っています。

### 【小学生女子の部】

10月30日 荒川総合運動公園 A面

指扇ライオンズ女子	0 0 1 1 0 4	15
沼影ソフトボール少年団	0 0 0 0 0	0

(指扇) 谷口万葉ー田中 渚  
(沼影) 三須春花ー大本夏音  
(二塁打) 平 琴音・小暮優花[指扇]  
(MVP) 谷口万葉[指扇ライオンズ女子]  
(審判) 中澤昭男(球)・浅野庄吾(一)  
斉藤政勝(二)・亀谷清司(三)  
(記録) 野中新介(戦評) 本間幸次  
(広報) 斉藤 豊

### 指扇ライオンズ春秋連覇で 7年振り4度目の優勝!!

指扇ライオンズは3回二死三塁から平の二塁打で1点先制、4回沼影三須投手の乱調をつき打者16人の6長短打で一挙10点、5回にも失策をはさみ4連打で4点と突き放した。

沼影ソフトボールは谷口投手の好投の前に1安打・10三振の完封を喫した。

#### 指扇ライオンズ女子・川村秀明監督

◎今年は東日本大会に出場させていただき、春秋とさいたま市の大会に優勝させていただきまして、子供達に感謝しています。  
関係者の皆様ありがとうございました。

### 市民体育大会最優秀選手

種別名	チーム名	選手名
男子1部	カスラーズ	山田 侑佑
男子2部	桜ソフトボール	佐藤 岳史
男子3部	イーストワン	高橋 斉
壮年の部	さいたまクラブ	倉田 新二
実年の部	さいたまクラブ	千島 満
シニアの部	浦和 S G	小林 薫
ハイニアの部	さいたま65	荒井 康男
レディースの部	美園フレンズ	酒井のぞみ
中学女子	市立春里中学校	井出 沙央
小学男子	太陽フェニックス	田渕 克海
小学女子	指扇ライオンズ女子	谷口 万葉

### 中央支部大会予選会報告 県大会成績 [3位以上]

- 1) 全日本小学生兼関東小学生男女大会  
4/9 男子7 T、女子2 T参加  
仲本ソフト少年団・**県大会準優勝**  
(関東大会へ)
- 2) 全日本一般男子兼関東クラブ男子普及大会・4/10・17、6 T参加  
土小P T Aソフト・**県大会準優勝**  
(関東大会へ)
- 3) 全日本壮年ソフト大会兼スポーツマスターズ・予選会なし4 T参加  
城北小ソフト・**県大会第3位**
- 4) 全日本シニアソフトボール大会  
浦和 S G **県大会第3位**  
4/24 8 T参加
- 5) 全日本レディース大会  
予選会なし2 T参加
- 6) 全日本実年兼埼玉ミドル大会  
5/29 3 T参加
- 7) 全日本ハイシニア大会  
6/18 3 T参加  
大宮レインボーズ **県大会第3位**
- 8) 全日本エルディスト大会  
予選会なし1 T参加  
シルバーウイング **県大会第3位**
- 9) ミズノオープン[一般男子大会]  
6/26・7/3 4 T参加  
土小P T Aソフト **県大会優勝**
- 10) 土屋会長旗争奪[男子大会]  
7/10.8/7 7 T参加
- 11) 土屋会長旗争奪[女子大会]  
7/17 2 T参加
- 12) 土屋会長旗争奪[シニア大会]  
7/18 7 T参加  
浦和 S G **県大会優勝**
- 13) 関東小学生選抜男子大会兼東日本小学生男子大会 12/4・10 8 T参加  
小学生女子 予選なし  
桜フェニックス **県大会準優勝**  
太陽フェニックス第3位



【8度目の優勝・太陽フェニックス】



【4度目の優勝・指扇ライオンズ女子】

平成23年度の市民体育大会は、8月28日～11月27日まで開催し、291試合行なわれ無事終了いたしました。参加されたチーム及び関係者の皆さんご苦労様でした。ご協力誠にありがとうございました。



【大会を支えてくれた、審判・記録・競技・大会役員の皆さん】

## 記録員伝達講習会実施

3月4日岩槻駅東口コミセンで、市ソ協公式記録員の伝達講習会が開催された。

本間幸次記録委員長代行を講師に、9時～12時迄、16名の参加者は熱心に聞き入り、メモをとっていた。

### 【記録委員の現況について】

◎ 記録・審判とも資格保有者が少なく高齢者が多い。5年後には現有メンバーが半減の危機。昨年の市民体育大会で記録員のやりくりがつかず他支部よりの応援を受けた。早速掲示板にクレームの書き込みがあった。(市内大会に他市よりの応援はいかなものか、自前の記録員を育てたら!!)よって「チームに資格取得の義務化」か「他支部より応援」か、対策を検討するよう要請。

○1種資格試験に榎本記録委員長が、20代・30代の現役記録員に交じり70代で挑戦。見事年齢的快挙をとげた。

○県ソ協記録委員会事務局員に清水智衣子さん就任。

○6月頃「春季大会」中、スコアカード記入の実技研修を行う予定。随時記録員希望者を募集中。

### 【講義の主な内容】

◎ 記録の役目と意義

(公式記録員3種を対象に、基礎から解説) 正確と公平。ルールブックは外野フェンスが設置してあることが前提となっている。アピール→審判→記録の流れ。ルールに誤っているのを知っていてもアピールがある迄は進行。逆順は混乱のもと。  
[記入法 74の例で解説]

○打者が1塁に生きる。打者がアウトに。走者打撃による進塁。走者投球時の進塁。走者がアウトに。野手選択。盗塁。犠打(フライ・バント)。選手の交替など。

[集計の仕方及びチェック]

○自責点の復活。復活の要因 → 安打、四球、死球、WP、IP

○打席数=打数+四球+死球+犠打+打撃妨害

↑ ↓ 検算

・打席数=得点+残塁+相手の刺殺数

○現在、県大会以上の試合記録(守備率、打率、防御率)等はパソコンで計算。(手計算→1日。パソコン→現場でも可)



【記録講習会で講義・本間記録委員長代行】

## 審判員伝達講習会開催

3月10日、11日 220名受講

3月10日与野本町コミセンで平成23年度審判員伝達講習会が開催された。投球規則に関するルールと、基本動作が大幅に改正されたため、関心が高く140名が受講した。



和田会長の「昨シーズンは3月11日の東日本大震災の沈んだ世相のなか、私達のソフトボールの楽しみを取り上げないで欲しい、のムードが高まり、開幕に至りました。いま日々の閉塞感を打ち破り、楽しくソフトができる手助けをして下さい。委員会の集計によると審判登録者は334人ですが、昨年審判活動に参加したのは100人余であり、もっと積極的に活動をお願いしたい」との挨拶で開講した。



岡田貢審判副委員長の講義により、ルール、競技者必携の改正点の説明の後、中央研修会で配布されたDVDをスクリーンに投影し動画等により内容の確認が行われた。

今回の改正は、ソフトボール競技そのものの性質が変わる程の大幅な改正であるとの反響があった。

また、本年度は、県予選会や県大会を7大会主管することから、昨年度以上に審判員の要員不足が深刻化することが推定される。このため、審判の依頼を受けた際には快く



【講師は岡田審判副委員長】

応じていただきたいと、山内審判委員長から要請があった。

過日開催された、市ソ協春季大会の各種別代表者会議の席上においても、投球規則のルール改正点をチームに伝えた。

## 投球規則の5つのおもなルール改正点は、次の通りである。

- ① 準備投球の過程では、投手板に触れたままの状態を保ち、そこから投球を始めなければならない。
- ② 2秒以上、5秒以内身体を完全に停止しなければならない。
- ③ 投手はリーピングすることができる。
- ④ 腕は一連の動きで投球を完了しなければならない。
- ⑤ リーピングの場合は着地するより前に、プッシュ&ドラッグの場合は、ドラッグが終わるより前に、両手は離れなければならない。

### 【実技講習会】

3月11日には、荒川総合運動公園にて2日目の実技講習が行われ、審判員が約80名参加した。実技指導時には大宮レインボーズに協力いただき、岡田審判副委員長の指導で、改正された球審・塁審の基本動作を実技研修した。コールやジェスチャーの基本動作を繰り返し研修し、大幅改正にとまどいながらも参加者は対応していた。



次に浅見理事長の投球動作の実技、解説が行われた。投球規則の変更点について、投球を実演し、「クローホップ」・「リーピング」・「軸足」・「自由足」・「二段蹴り」等を細かに解説した。これはリーガル(合法)、これはここがイリーガル(不正投球)。違いを身振りで実演し、参加者は理解を深め、有意義な講習会であった。



【リーピングによる投法は合法】



【投球板上で軸足が動いても合法】

## 日本体育協会指導者 功労受賞にあたって

小学生副委員長 笹川 康好

日本体育協会発足100周年という記念すべき年に、このような賞を頂き、大変光栄に感じておる次第です。

昭和53年に長女が10歳の折り、私も大好きであったソフトボールを地元常盤地域のチームに入部したのがきっかけで、昭和53年に指導者として登録させて頂きました。



[笹川康好氏]

以来30数年、ソフトボールというスポーツを通じて、微力ながら1個の白球をはさんで地元青少年の健全育成を目標に頑張っており、子供達と一緒に泣いたり、喜んだり、怒ったりしながら、雨にも負けず、風にも負けず、雪にも負けず、怖い女房にも負けず、土曜、日曜、祭日、一日も休まずソフトボールを続けてまいりました。

お陰をもちまして、オリンピック選手、国体の選手、実業団選手等、優秀な選手を輩出することができました。

受賞にあたりましては、私を支え助けてくれた方々、励まし、しかってくれた方々、その他多くの方々の指導があったからこそと想っております。その方々に代わってお受けするものと考えております。

昨年、古希を迎えて、身体中の骨がコキコキ鳴っていますが、まだまだ若者には負けずに頑張っており、諸先輩の皆様には今後共においに発破をかけてください。ありがとうございました。

## 県ソ協 功労賞をいただいて

中央支部女子部長 井上 嘉美  
(旧姓 古山)

旧浦和市に生まれ、土合中でソフトボール部に入り、文教大学でも青春をソフトボールにささげました。

同好の友人と10年前桜区内でレディース部門の「まるまるず」を立上げて代表になり、5年前には市ソ協に加盟しました。チームの戦歴は◎(二重丸)位です。



[井上女子部長]

ソフトボールを続けて「20年余」この様な賞を頂けることを大変光栄に思います。辻南小で「元気いっぱい」の3年生を担当しています。全校の子供達にスポーツの楽しさを教え、地元地区内にソフトボールの裾野を広げるためにも微力ながら尽力したいと思っております。

チームの皆さん、学校の先生方、父兄の皆さん、市ソ協の諸先輩の方々、今後ともよろしくご指導ください。また、絶大なご協力をお願いします。

この度は本当にありがとうございます。  
レディースの部・「まるまるず」代表

## 浦和SG20周年と 過去の成績

浦和SG代表者 藤原 安久

浦和SGは、平成4年3月に故内田繁雄氏がクラブチームとして結成し、監督に就任しました。部員は20名程度で優秀な選手が揃い、順調な出だしたそうです。

監督の口癖は「常に」で、例えば「常に他のチームに恥じない行動を」とか「常に成績は上位を目指せ」と、「常に・常に」を連発し、選手の士気を高めて全国大会に出場するのが大きな目標でした。

初めて全国大会に出場したのは結成した年の『ねりんピック・山梨大会』で、瓜本投手と中井川捕手のバッテリーでした。

ねりんピックは9回出場し、成績はベスト8が1回、第3位が1回と好成績を収めました。第7回大会は連続参加の為、前年度参加しなかったメンバー結成し、直井さん(前副理事長)が監督として『島根大会』に参加しました。その後直井さんは退部し、新たに「浦和クラブシニアーズ」を翌年結成されました。

その後内田監督と共に選手集め・練習場の確保等、先輩達が築き上げたものを守り通しました。その一環として、独自に関東地区近隣の優秀チームを集め、シニアの大会を開催しました。残念ながら4回大会で終わりましたが、各県のチームより惜しむ声も上がり、心に残る大会となったことに満足し、少しでも役に立つことが出来たと自負しています。

全日本シニア大会は6回出場しましたが、初戦で負けた事はなく、平成9年の11回大会(栃木県足利市)はベスト8、21回大会(三重県・志摩市)は準優勝、22回大会(奈良県・河合町)では念願の優勝を果たしました。この大会は一番心に残っており、今でも鮮明に覚えています。

1日目の岐阜県代表の各務原戦で、6回に1点を先取したが、7回二死から3ランホームランを打たれ逆転されてしまいました。7回裏最後の攻撃は選手一丸となって戦い、先頭の平田選手が頭脳的なバントで出塁し、次打者も繋ぎ、佐藤投手のセンターオーバー

で再逆転しました。エースの佐藤投手は最後まで投げきり、その頑張りには選手一同頭が下がりました。その後の試合は順調に進み、決勝戦では打線も好調で、長崎県の佐世保戦では18点を挙げ大勝利でした。

ベンチの選手も汗をかき、声をからして一生懸命応援しました。これこそがチーム一丸となって勝ち得た大会です。

これからもソフトボールという白い球を通じて、故人・内田監督の遺志を継いで常に上を目指して行く所存です。市ソ協役員の方々には、これからも色々お世話になりますが、宜しくお願いいたします。

## 「ねりんピック熊本2011」 ソフトボール交流大会に参加

大宮レインボーズ監督  
中村 允昭

ねりんピック・ソフトボール交流大会が平成23年10月15日～18日に熊本県に於いて、都道府県と政令指定都市の代表66チームが参加し開催されました。

大宮レインボーズは、さいたま市代表として出場し1回戦で静岡県代表チームと対戦しましたが、初回に相手の1番バッターにいきなりホームランを打たれ、ピッチャーが動揺からか、制球難に苦しみ無残にも1対10の大差で敗退する結果となりました。

負けた試合を振り返り、また強豪チームの試合を観戦し感じたことは、ソフトボールは点をやらないゲーム、特にピッチャーの実力が勝負をわける大きな要素であることを改めて思い知らされました。

試合では本当に悔しい思いをしましたが、大会を通し戦力強化を図る意味で多くのことを学ぶことができましたし、熊本城をはじめ阿蘇や天草などを観光でき、また熊本名物の馬刺しや、からしレンコンを肴に美味しい焼酎を呑めたことは、ねりんピックに参加して有意義であったし、楽しい思い出となりました。



[中村允昭監督]



【さいたま市選手団の結団式】

**日本体育協会指導者功労賞**

笹川 康義 (常盤スポーツ少年団)  
(さいたま市スポーツ少年団推薦)

**埼玉県ソフトボール協会功労賞**

石渡 勲 (市ソ協・財務部長)  
眞嶋久美子 (市ソ協・事務局長)  
神田 永也 (市ソ協・競技副委員長)  
井上 嘉美 (中央支部・女子部長)

**23年度さいたま市体育功労賞**

山田 剛 (市ソ協・男子委員長)

(平成22年度・スポーツ少年団枠)  
笹川 康義 (市ソ協小学生副委員長)

上記の方が永年に亘るソフトボール普及進展に尽力した功績を認められ、それぞれの機関・団体より表彰されました。おめでとうございます!!

**北部工業団地記念公園  
駐車場の草取り作業**

球春間近な3月20日(祝)に、北部グラウンド駐車場の草取りを和田会長はじめ、永田、白島副会長以下50余名の皆様のご協力を得て実施しました。

8時30分から初めて約2時間の作業で、トラック2台分の草取りを実施しましたので、今年一年間気持ちよく使用出来るようになりました。ご協力ありがとうございました。(松本文夫 記)



【駐車場の草取り作業風景】

**埼玉県庁クラブの活動**

総合開会式での技術指導などで日頃お世話になっている「埼玉県庁クラブ」の成績を報告します。

- ◎ 全日本総合男子選手権大会  
9月 大阪市 2回戦進出
- ◎ 国民体育大会 成年男子の部  
10月 下関市 第3位
- ◎ 男子東日本リーグ (23年度)  
6勝6敗 第4位

**平成24・25年度役員名簿[抜粋]**

市役職名	氏名	県・支部役職
顧問	田中 一弘	県協会参与
会長	和田 隆雄	県協会副会長
副会長	田中 勉	支部副会長
〃	永田 喜雄	〃
〃	浅見 茂	〃
〃	白島 一芳	中央支部長
理事長	浅見 茂	県技術委員長
副理事長	榎本 靖二	副支部長
〃	河村 展良	〃
〃	藤原 誠	〃
〃	石渡 勲	〃・財務部長
総務委員長	永井 洋三	*
副委員長	藤川 和仁	総務部長
財務委員長	芝崎 博司	*
記録委員長	榎本 靖二	記録部長
広報委員長	田口 秀夫	広報部長
放送委員長	山崎 善樹	放送部長
審判委員長	山内 渉	審判部長
競技委員長	小笠原新政	*
副委員長	信田 正行	競技企画部長
男子委員長	赤川 清一	*
壮年委員長	植原 則武	*
実年委員長	藤原 誠	男子部長
シニア委員長	船戸 清	シニア部長
女子委員長	醍醐 真弓	*
〃	井上 嘉美	女子部長
高校生委員長	新井 忠	県高体連委員長
中学生委員長	浜出 均	*
小学生委員長	千葉 典夫	小学生部長
技術委員長	会見 卓也	*
〃	荒川健二郎	県強化委員長
審判副委員長	岡田 貢	指導者部長
事務局長	眞嶋久美子	事務局長
監事	石黒 覚	県・支部監事
〃	藤原 安久	支部幹事

**審判員・記録員認定会合格者**

**【第3種公認審判員】 (49名)**

春元 義博・高橋 豊・佐藤 正彦  
加治 俊之・天沼 尚文・反町 敦  
小池 一美・谷島 隆仁・原 昌太朗  
小川由美子・山崎 理沙・吉田 和樹  
下嶽 茂・山崎 浩幸・大河内健夫  
居川 隆博・関口 隆之・森田 正雄  
大西 聡・谷口 英弘・宮原 芳夫  
杉山 賢哉・高味 裕之・山本 裕一  
久野 康裕・田中 昌幸・今井 幸孝  
宮原 義明・木野内則幸・吉田 和成  
小野 俊英・成瀬 達一・山北 治  
嶋志田 敦・若林 聡・秋山 均  
米谷 亮太・日向野 崇・田中 義一  
土田 勝・内田 和平・及川 清明  
大東 卓司・大細 静治・塩原 和彦  
清宮 敏行・小林 大高・山川健太郎  
多部田貴美子 (12/18・さいたま市)

**【第1種公式記録員】 (1名)**

榎本 靖二 (市ソ協 記録委員長)  
(11/26・27 越生町)

**投稿者募集のお知らせ**

次号は春季大会終了後発行する予定です。広報担当永田副会長の提案で、東北出身者(特に被災された地域の出身者の方)の故郷への応援メッセージを募集(写真添付で)。

及びご家族、親戚の方々が被災された監督、選手からの投稿の特集を組みたいと考えておりますので是非投稿してください。

上記以外でもチームの紹介など、どしどし編集委員会まで投稿してください。

**編集後記**

◎染井広報担当副会長の後を受け、広報を担当することになりました。昨年は、不幸な大震災がありました。あらためて人となりの絆が再認識されています。ソフトボールをとおしての絆、そんな暖かい紙面を提供したいと思っています。たくさんのお便りをお待ちしています。

(広報担当副会長・永田 喜雄)

◎24年のシーズンが始まりました。ゲームはプレイヤーばかりでは不可能です。準備をする、進行する、判定する、記録する、結果を知らせる、裏方さん達がいてゲームは成り立ちます。今年は審判員の3種合格が49名、競技員が一挙3倍の114名と大増員されました。段取り7分で仕上げ3分と言います。全員で手分けして準備すれば、あとは楽勝の意です。競技委員長の大会に拍手!!当広報委員会も、創立10周年記念に関し皆様の知恵と力を借ります。そして広報委員をも大増員募集しています。よろしく協力をお願いします。

(広報委員長・田口 秀夫)

◎やっと19号が出来ました。市ソ協の運営、県の記録副委員長、ホームページ作成や、地域のボランティア活動とやる事が多く、とうとう古希を迎えた老人にはハード過ぎます。その日のうちに寝ることはまずありませんし、あちこちと体調不良です。旧大宮市時代から15年間田口委員長とタッグを組んで広報誌を作成していますが、紙面もマンネリ化しているので、どなたか広報誌の発行を交代してください。

(広報副委員長・榎本 靖二)

**さいたま市ソフトボール協会  
事務局**

さいたま市見沼区小深作485-1  
眞嶋久美子 方(〒337-0005)

**【広報誌編集委員会】**

永田 喜雄・田口 秀夫・榎本 靖二  
山内 渉・斉藤 豊・松本 文夫  
友光 節夫・神長伊佐男・岡田 貢  
清水智衣子・信田 正行・大塚 妙子